

長尾福祉社会報

令和6年4月1日

第49号



長尾学舎の こどもたち



—長尾福祉会理念— 障害をもっているも もっていないなくても 男も女も
「生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとう」といえる
社会づくりをめざします。

～ ご挨拶 ～

日頃から地震への備えを

社会福祉法人長尾福祉会 理事長 森田 浩之

令和6年1月1日の「令和6年能登半島地震」は避難弱者の対策についての課題を改めて浮き彫りにしました。私はちょうど1ヶ月後の2月1日に、被災地へ炊き出しと支援物資を届けに行ってきました。現地を見た当法人でも同じことが起こった場合、果たして何人をどのようにどこに避難させるのか、現在の災害マニュアルの実効性についても考えさせられました。

人間は不安が襲ってくると、人の脳はパニックにならないように、その不安を和らげるようにあらゆる物質を出し中和しようとしてします。そして、大多数の人はトラウマにならずに日常生活が送れるようになります。でもこれは日々の備えを希薄化する原因にもなっています。あの衝撃的な東日本大震災から13年経ちますが、それ以降十分な対策をとっているかと問われると、答えに詰まります。今回の被災地を見て、今日明日に起こるかも知れない大地震に備え、対策を加速したいと思います。皆さんも一緒に耐震、備蓄をもう一度見直しましょう。

社会福祉法人は、「社会、地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、社会福祉事業の安定的・継続的経営に務めるとともに、多様な生活課題や福祉需要に柔軟かつ主体的に取り組む公共的・公益的かつ信頼性の高い法人です。

のぞみ園

女子寮

2月といえば節分

生活支援員 植松 初代

女子寮では季節感のあるレクリエーションを通して、皆で楽しいひとときを過ごそうと思い、チーム対抗で競う「お楽しみ会」を行いました。今年の干支の竜と鬼の角に見立てたコーンをねらったの輪投げ、豆に見立てたキャップすくい・玉入れ豆まきなど、節分にちなんだ競技を楽しみました。突然乱入してきた鬼にびっくりした様子でしたが、皆の無病息災を願ってくれた赤鬼でした。



男子寮

新年のごあいさつ

生活支援員 間島 義博



1月3日、男子寮のみんなで長尾寺へ初詣に行きました。今年が一番最初のイベントであり、とても楽しみにしていました。お費銭を握りしめてお寺に行くと、みんな真剣に手を合わせていました。今年の一年をどのような年にしたいと願ったのでしょうか。みんなにとって今年が良い一年となりますように……。



南寮

南寮豆まき大会

生活支援員 村尾 雄



2月7日、少し遅めの節分を行いました。節分の鬼にちなんで鬼退治を行う「もも太郎」の本を読んだ後、豆に見立てたペットボトルのキャップを、支援員が扮する鬼に投げて鬼退治を行いました。皆さん笑顔が見られ楽しまれているようです。今年も福を呼び込めよう、支援員一同努力していきます。



通所

無事に終わった テーブルマナー

生活支援員 安富 弘美



コロナやインフルエンザが流行っており、実施できるか心配でしたが、2月28日に無事開催することができました。当日は天気にも恵まれ、バスに乗り込むと皆さん嬉しそうな様子でした。徳島の直送海鮮なるみ丸では豪華なランチに喜びの声が上がります。いつもと違う空間で会話も弾みも進みました。足湯やエイワ農場での買い物も親子で楽しめ、保護者の方々にも喜んでいただけました。次はどこへ行くのか楽しみとお声も多く、これからも皆さんと触れ合える時間を作っていきたいと思いました。



成人式

職業指導員 木村 佳央

令和6年1月16日、のぞみ園地域交流ホールにて成人式を開催しました。
民法が改正され、成年年齢が18歳に引き下げられました。のぞみ園では20歳で成人式を行いました。全寮の利用者さんを招き、盛大にお祝いしてもらい、最後に全員で記念写真を撮り、一生で一度しか迎えられない成人式の思い出を残すことが出来ました。



ひなまつり

職業指導員 大津 奈津美

3月3日のひなまつりを感じてもらうため、のぞみ園ではひな人形を飾ったり、春の雰囲気の掲示物を作ったりしました。当日は給食で押し寿司や菜の花の料理が出て、各寮ではお抹茶を立てたり抹茶をアレンジした抹茶ミルクを飲んだりおまんじゅうを食べたりと、ひなまつりの雰囲気を楽しみました。皆さん一足早く春を感じられた一日となりました。



この度、通所に通っている小倉優香さんと作品が、果の広報誌「THE Eかがわ」3月号に紹介されました。よかったですね。



のぞみ児童 デイサービス事業所

児童デイの年始行事

児童発達支援管理責任者 山石 久

1月4日に初詣を行い、大窪寺へ行き参拝しました。1月9日には少し早い鏡開きをしました。みんなで割ったお餅を焼いて、ぜんざいにしたりきなこや砂糖醤油につけて、皆さんおいしそうに食べていました。





認定こども園 高松くりの木学舎

「保護者の方と一緒に遊んだよ」

ひよこ組（0歳児）

秦 未来



12月19日（火）保育参加・給食試食会がありました。保育参加では、花紙や新聞紙を破ったり、丸めたりする子どもたちと保護者の方も一緒に遊んでいたよかったです。新聞紙あそびは普段の遊びの中でも取り入れており、遊ぶにつれ指先を使って小さくちぎれるようになってきました。給食試食会では、子どもたちが給食を食べる様子を見たり、園で提供している給食を保護者の方にも食べてもらいました。「給食がとっても美味しくてびっくりしました」「自分であれ程食べたがるのは驚きでした」などと様々な感想を聞かせていただきました。園での様子や、味付けや量などについて知っていたたいたくいい機会になったと思います。



「どんぐり拾い」



れもん組（2歳児）
上野 紗都

園の近くにある花園小学校へ歩いてどんぐりを拾いに行きました。「手をつないで歩くの初めて」と初めての散歩にも胸を膨らませている様子が見られました。小学校に着くと地面はどんぐりでたくさん。事前に作った散歩バックに拾ったどんぐりを入れていく子どもたち。次々と拾い、バックたくさんに拾う子や、「緑色」をしたどんぐりを選んで拾う子、友だち同士で「あっち行ってみよ」と誘い合いながら拾う子など、拾い方にもそれぞれ違いが見られました。拾ったどんぐりを家に持ち帰ったり、園でマラカスにして遊びました。自分で歌いながらリズムに合わせて鳴らしてみたり、ある時は、音楽に合わせてダンスをしながら鳴らしてみたりもしましたよ。今後散歩に出掛けて身近な自然を感じたり、季節の移り変わりに気づく経験を重ねていきたいです。



「行事を経験して 自信がついたよ☆」

うみ組（4歳児）

須藤 真由美

生活発表会では合奏「きらきら星」・劇「めっきらもっきらどおんどおん」をしました。子どもたちは公園で木登りをしたり、木の穴を探してお宝を見つたり、クッキングでお餅を作ったりと、絵本の物語をあそびで再現することを楽しんでました。発表会までの取り組みでは、ステージで表現することの楽しさや嬉しさ、恥ずかしさなどたくさんのお気持ちを抱きながらクラスの友だちと作り上げていく心地よさを感じられるようになりました。また日頃からよく遊んでいる「縄跳び」「トランポリン」「なべなべせこぬけ」などの子どもたちの好きな遊びを劇中に取り入れ、普段の生活を披露しました。当日は緊張する姿や張りきる姿がありましたが友だちと一つの合奏、劇をやり遂げる喜びや達成感を味わい、堂々と舞台上で表現する子どもたちにとって大きな自信と成長に繋がりました。



「お餅屋さん came たよ！」

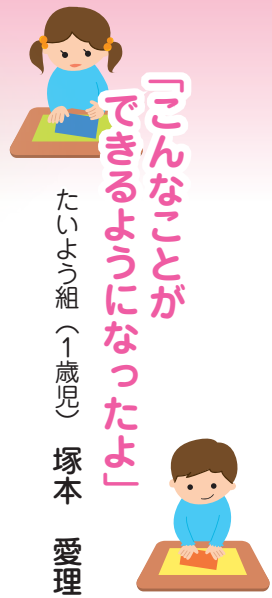
主幹保育教諭
小鷹 浩美

12月28日（木）毎年恒例の餅つきを行いました。白と杵でつく餅つきを間接地で見たり子どもたちは大興奮!!餅をつくりリズムに合わせて「よいしょ」という掛け声で応援したり、餅つきの真似をしながら身体で表現する姿も見られました。つきたての餅を食べた年中・年長さんは「おかわりがほしい」とリクエストもあり笑顔がたくさん見られました。当日は、同じ法人職員の方が手伝いに来てくれましたが、子どもたちから「お餅屋さん came たよ」と喜びの姿もありました。大人にはない発想でいつも微笑ましく驚かされます。これからも日本の伝統行事を伝えていきたいです。





認定こども園 長尾園舎



「こんなことが
できるようになったよ」

たいよう組（1歳児） 塚本 愛理



11月18日（土）ひかり組（0歳児）、たいよう組（1歳児）のふれあい参観がありました。それぞれのクラスで、子どもたちの日常生活や遊んでいる様子を見ていただきました。保護者の皆さんは、「園でこんなことができるようになった」と、驚きと共に我が子の成長を喜ばれているようでした。この日、たいよう組では、親子で一緒に遊んだり、みかんの製作をしたりしました。製作では、手先を使って折り紙をちぎり、のりを付け「ぬりぬり」「べた」と感じたことを言葉にしたり、親子で微笑み合ったりしながら、個性豊かな作品が出来上がりました。笑顔があふれ、ほっこりしたとても良い時間になったようでした。

「ワクワクドキドキ、はじめての発表会」

にじ組（2歳児） 入谷 茅沙

12月2日（土）生活発表会がありました。楽器あそびや体を動かすことが大好きなにじ組は「てをたたきましよう」の曲に合わせてカスタネットをたたいたり、「ハッピージャムジャム」の曲に合わせてリズムにのって楽しく踊ったりしました。また、劇あそびでは大好きな「大きなかぶ」の絵本を題材に、にじ組になってできるようにしたことや、大好きな遊びの一つ、綱の引っ張り合いっこを楽しみました。友だちと「うんこしよ、どっこいしょ」と力を合わせてかぶを抜こうと全身を使って表現する姿は、とてもたくましく見えました。恥ずかしがり屋さんが多いにじ組は、沢山のお客さんが見る前で緊張し、戸惑う姿も見られましたが、一人ひとりの心を大きく成長させたことと思います。保護者の方々、会場にいるみなさんと共に笑顔溢れる発表会となりました。これからも子ども達と様々な遊びを楽しんでいきたいと思っています。

「笑顔いっぱい楽しかった運動会」

にじ組（2歳児） 高橋 麻紀子

9月30日（土）天候にも恵まれ、広々とした園庭で運動会を開催することができました。今年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、祖父母や兄弟姉妹にも観覧してもらうことができ、賑やかな運動会となりました。みなさんからの温かい声援や笑顔が子どもたちの力となり、緊張しながらもいつも以上に張り切る姿が見られました。各クラスの親子競技もあり、親子で力を合わせて笑顔で楽しいひと時を過ごしていました。閉会式では、サプライズで多和北部獅子組による獅子舞が披露され、間近で見たり触れたり、地域の方と交流したりと貴重な経験をさせていただきました。子どもたちは友だちや保護者の方と一緒に大きな行事を経験したことで、また一段と心も体も成長したようです。

「クッキング当番にきました」

栄養士 工藤 真紀子

ぎんが組（5歳児）は、朝の挨拶放送をした後に給食室に行き、その日の給食で使われる野菜を1つ、皮むきからカットまでしています。最初は、ピーラーの持ち方や力の入れ方が上手くいかず、皮がなかなか剥けなかったり、包丁に力が加わらずに、切るのが難しかったりと悪戦苦闘していました。しかし、1ヶ月もすると、ピーラーも包丁も上手に使えるようになりました。最近では「前は玉ねぎだったけど、今日は人参？」「じゃがいも初めて！」「きんごを切って割くのが面白い！」「今日も人参？」と自分が切った野菜を覚えていたり、「今日のこの野菜は何に入りますか？」と自分が切った野菜がどのメニューに入るのに興味が出て質問が出るようになりました。また、「マイ包丁を買ってもらった」と家でもお手伝いを楽しんでいる姿も見られ「食への関心が高まっているのかな」と嬉しく思っています。これからも、給食や家庭料理にどんな食材が使われているのか、興味を持てるようになってほしいです。



特別養護老人ホーム

ゆたか荘

ゆたか荘開荘24周年を祝い

副施設長 高村 えりこ

ゆたか荘も開荘より24周年を迎える事ができ、3月1日『開荘24周年を祝う会』を行いました。昼食で祝膳をいただき、午後からは『音楽ボランティアグループ Līru』様より懐かしい歌を演奏と共に披露していただきました。皆様、懐かしんだ様子で口ずさみ、とても良い時間を過ごす事ができました。思えば、開荘当初より本日までたくさんのお出会いと別れを繰り返しながら、皆様と共に成長してきた24年間であったと思います。今後ご利用者、ご家族と共に想いを共有しながら『ゆたか荘を選んで良かった』と言っていただけるような施設づくりを行っていききたいと思います。



節分豆まき

1階介護職員 佐々木 信也

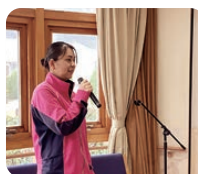
2月2日に、節分行事を行いました。コロナ感染症も徐々にはありますが落ち着いた事により、今年の豆まきではご利用者との距離も近く交流を図る事ができました。職員が鬼に扮してご利用者と記念撮影を行ったり、「鬼は外！福は内！」と声をかけながら豆の変わりにお手玉を投げ節分の日を楽しみました。鬼の姿を見て驚かれる方や笑顔で迎えて下さるご利用者もあり、良い気分転換になられていたようです。また、昼食では巻き寿司を美味しく召し上がられていました。今年も皆様に沢山の「福」が訪れますように！



家族会

介護主任 木村 真吾

2月25日に家族会が開催されました。小雨降る悪天候の中ではありませんでしたが、多くのご家族の参加があり、ご利用者の日常を取めたフォトムービーを視聴いただきました。コロナウイルス感染症の5類以降後も、高齢者にとって重症化リスクが高い状況には変わりなく、各種制限を継続している医療・高齢者施設も多いと思います。ご利用者にとって、ご家族との『かけがえのない時間』に勝るものはありません。ゆたか荘ではご利用者の『かけがえのない時間』を一番に考え、感染予防に努めた上で面会・外出・地域交流の機会を多く設けていきたいと考えています。一緒にいきたい場所や面会の希望などあれば、いつでもご相談ください。



職員紹介

2階介護職員 横田 加奈

2月にゆたか荘に入職し、約1年が経ちました。ゆたか荘に来た時に一番に感じた事は、ご利用者・職員共にとても穏やかな雰囲気であり、ご利用者本位にケアを考えている施設だという事です。私はその様子にとても魅力を感じ、『ごなら自分自身を成長させ、やりがいをもって仕事ができるのではないかと』思いました。入職後も先輩方のきめ細やかなフォローがあり、解らない部分は聞いたり相談できる環境でとても心強かったです。ゆたか荘の一員としてご利用者に関われる事、ご利用者のお役に立てる事に喜びを感じながら、やりがいをもって日々精進していきたいと思っております。





ハーティヴィラ 亀鶴

高齢者複合施設 ハーティヴィラ亀鶴

■ショートステイセンター

ショートステイセンターは、自宅で過ごしている時と同じような雰囲気の中お一人おひとりの心身の状態やご様子に合わせた支援を行っています。



風船ボウリング大会！



誰が勝つかな？



楽しみにしていた寄せ鍋ランチ



よーいしょー！みんなで掛け声



大窪寺へ紅葉ドライブ



収穫が楽しみです

複合施設ならではの 合同レクリエーション



鬼は外、福は内！



手作りの輪投げゲームでねらえ！
高得点！



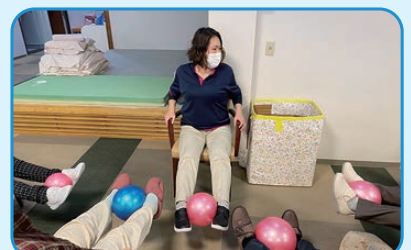
日向ぼっこをかねて
お散歩タイム



腕をしっかり上げていきましょう



皆さんでひとつの作品を作ります



足の筋肉をきたえます！

■デイサービスセンター

デイサービスセンターではご入浴、お食事をはじめ、レクリエーションや体操、機能訓練を取り入れることで、ご利用者のみなさんに1日を楽しみながら心身の機能向上を目指していただける支援を行っています。

デイサービスセンターゆたか

笑顔が絶えまなく…… 主任 艸薙 ルミ

デイサービスでの時間を過ごす方々にとって、横の繋がりがいかに大切かをよく目の当たりにします。

利用者同士、利用する中で顔見知りになり、言葉を重ねていくことで仲良くなっていく。

そういった関係づくりは、生きる活力にも繋がっているように思います。

身体的機能と同様に精神的機能の安定さも求められる中で、コミュニティの場としての役割を今後も提供していきたいと考えています。



ケアプランセンターゆたか

～「自分らしい生活」を応援します～

センター長 鎌倉 節子

ケアプランセンターゆたかでは、現在4名の介護支援専門員が相談業務を行っています。「介護のことで悩んでいる」「ひとりで困っている」ということはありませんか。

お一人おひとりに合った暮らし方を、一緒に考えていきます。お気軽にご相談ください。



ケアプランセンターゆたか

住所：さぬき市長尾西1602-1

電話：(0879) 23-6518

(受付時間)

月曜日～金曜日 午前8:30～午後5:30

◎ご相談の費用は、無料です。

編集後記

亀鶴の窓を開けると春の香りとともに元気な子どもたちの声が風に乗ってやってきます。季節の折々に亀鶴の皆さんと子どもたちが交流を図れる機会があることに感謝します。(亀鶴 寺島)



香川と愛媛でテレコム事業や電気事業を展開する株式会社アマックス様から、子どもたちのためにご寄付がありました。絵本や図鑑14冊購入させていただきました。ありがとうございます。



長尾小学校より素敵な花のプレゼントをいただきました。ご利用者も大変喜ばれ、花のお世話を日課にされております。また、交流できる事を楽しみにしております。素敵なプレゼントをありがとうございました。

な田村花局様
 冬木村山子様
 さぬき里おはぎ会様
 読み聞かせ「おはぎ」則子様
 菱田谷せふ幸み子様
 前田とみう歯科局様
 のぞきとみう薬局様
 かねとみう薬局様
 株式会社アタック様

ご支援
 ありがとうございます
 でした